

学年通信「打たれよ熱き鉄人たち」第6号

平成30年(2018年)10月12日(金)発行

★得意分野で羽ばたけメジャーへ！



(2018年8月31日, 中日新聞朝刊より)

8月31日の中日新聞朝刊にこんな記事があったので紹介する。

本校1年6組の中根天満君がドローンの飛行に有利な技能認証「無人航空機技能証明」を受けた。県内で唯一国土交通省が認めている団体「ライズ」(東近江市小田苧町)の認定者の中では最年少ということだ。

記事によると、これには複雑な法規や機体構造の理解が必要で、中根君は4時間の学科と10時間の実技飛行の指導を受講の後、口頭試問と実技試験をクリアして技能認証を受けるに至ったという。

同級生から、レアな技能を持ったヒーローが生まれたことを誇りに思う。一人の名誉はみんなの誇り。中根君には得意分野で持ち味をさらに伸ばしてその道でメジャーになって欲しい。

様々な教科や分野で安定した能力を発揮するのも勿論素晴らしいことだが、一つのことに秀でることはもっと魅力的だ。今の時代、「レア」に大きな価値がつく。諸君らも持ち味や得意分野をさらに伸ばし、それぞれの道でメジャーを目指して欲しい。

因みに、自分には笑顔しかとりえがありませんという人は、それが宝だ。その笑顔で多くの人を癒やしてあげたらよい。自分は平凡すぎて何の特徴もないという人は、その平凡さを武器に

【10、11月行事予定】(期末考査までの道のり)		行事予定
日	曜	
15	月	
16	火	⑦限:総合(探究課題①)
17	水	性教育LHR(各クラスで)
18	木	性教育LHR(各クラスで)
19	金	スクールカウンセリング
20	土	
21	日	
22	月	木曜時間割 冬服完全移行
23	火	金曜時間割 ⑦限総合なし
24	水	
25	木	春季高校総体・高文祭
26	金	春季高校総体・高文祭
27	土	(春季高校総体・高文祭)
28	日	
29	月	
30	火	⑦限:総合(探究課題②) 2年修学旅行
31	水	
1	木	⑥⑦限:1年学年企画LHR
2	金	
3	土	
4	日	校外模試(本校にて)
5	月	
6	火	⑦限:総合(探究課題③)
7	水	滋賀県立大環境科学部説明会
8	木	⑥⑦限:1年人権教育LHR
9	金	保育の仕事出前就職フェア スクールカウンセリング
10	土	AM:第2回中学生一日体験入学
11	日	
12	月	読書週間
13	火	⑦限:総合(探究課題④)
14	水	
15	木	⑦限:11/1(木)⑥の授業
16	金	スクールカウンセリング
17	土	PM:「PTA 卒業生と語る会」(八日市ロイヤルホテル)
18	日	
19	月	「滋賀 教育の日」(⑥限:授業公開)
20	火	⑦限:総合(探究課題⑤)
21	水	
22	木	⑦限:11/8(木)⑥の授業
23	金	《勤労感謝の日》
24	土	
25	日	
26	月	
27	火	期末考査1週間前 ⑦限総合なし * 期末考査…12/4(火)~7(金)

模範的な「その他大勢」を目指せばよい。船頭ばかりでは舟は進まない。

誰もが持ち味を生かして社会貢献できる。人が存在することに何の無駄もない。誰もが何かに役立っている。誰もが誰かに必要とされている。諸君らの高校生活の最大のテーマは、自分の強みが何か、持ち味が何かを、発見し発掘することだ。何で稼ぐのではなく、何で社会貢献できるかを、一度でもよい、考えてみることだ。間違いなくそれは今後の進路選択の基礎になる。

☆秋季高体連、そして希望者による週一の進学補習開始

中間考査が終われば秋季高校総体、県高総文祭にまっしぐら。そこで完全燃焼の後は、希望者のみによる進学補習が始まる。部活動への影響を考慮して、文武両道が成立するぎりぎりのプランで週一を基本に、英語・数学・古典の3科目各4講座ずつ計12講座を開講する。すべて受講してもよいし、1科目だけでもよい。実施日は水曜日3:40~5:00(80分)。部顧問に相談の上、意欲ある者は是非参加して欲しい。言うまでもないことだが日頃の授業あつての補習であり、日常をおろそかにして本末転倒になってはいけない。

シリーズ「担任のこころ」3

おおの まさひろ

大野 真弘 (1-6担任 英語 水泳部顧問)

ことばを紡(つむ)ぐ ~1の6学級日誌からの拾い読み~

入学式。話せる人がいるか不安だったけど、話しかけてくれた人がいてすごうれしかった。部活動見学では、自分に合った部活を見つけたい。授業が本格的にスタート。やはり高校はペースが速い。まだまだ先生の名前と顔が一致しない…。あと、移動教室の位置も把握しないと。クラスにまとまりがでてきたような。授業も楽しい。吹奏楽部の中庭ライブは昼休みの空気をより一層鮮やかにした。新入生歓迎会では先輩方とも仲良くなれた。火曜日の朝。速単とにらめっこ。「ねむたい」って言うてる人がこの頃多い。みんなお疲れさま。考査近し。授業にも集中したいけど、睡魔とやらには勝てません。でも考査後の棠楓祭が楽しみ。春なのに自転車通学では手が寒い。はやく暖かくなれ。中間考査。駅を乗り過ごすほど参考書に没頭してしまった。今朝は一回起きたけど、気が付けば寝ている自分がいた。負けるな、自分。テスト返却では喜んでいよりも嘆いている人のほうが多し。そんな私も後者…。席替えをした。このクラスが個性豊かな集団であることに気付く。ところで、アピアは八日市の軽井沢と言われているらしい。高体連。3年生とせつかく仲良くなれたのにもう引退なんて早すぎる。今日は人も少ないし、「これ来る意味!？」って思った。今日で5月もラスト。早い。「丹波に出雲といふ所あり。」今日の天気は大雨。期末テストは撃沈。コンディションはハメス・ロドリゲス。大迫半端ない。副教科をなめていました。反省反省。棠楓祭で一句。「最後には 信じた結果 いつもある」最高の棠楓祭だった。目まぐるしく授業が再開し、日常を取り戻したかのようでいて、教室にはまだ棠楓祭の余韻が残っている。来年は演劇。主役の座は譲らない。古典の宿題にいじめられる。涙が止まりませんでした。用言って? 誰か教えて。現代文では井上先生の「怖い話」。それにしても暑い。汗も止まりません。日々精進ですね。9月。私が日誌を書くときはいつも雨。最近いいことないけど、雨上がりに虹が見えるかもとか前向きに考えていくべきだと思う。みんながいるから毎日楽しめていることに改めて気が付くこの頃。10月。井上先生が現文の授業でまたまた絵を描いてくれた。大野先生の絵がとてもうまく、感心します。クラスでの生活も折り返し地点を過ぎた。どんな出来事がこれから刻まれていくのか、非常に楽しみだ。

